

# 伝えたいことを正しい英語で表現できる生徒の育成 —既習事項を活用して自己表現するための学習ステップを通して—

特別研修員 外国語 佐藤志帆（中学校教諭）

## 生徒の実態

伝えたいことはあっても、どう書き始めれば良いのか分からない。

文構成の理解が不十分で、間違った語順で書いてしまう。

## 既習事項を活用して自己表現するための学習ステップ

### ステップ1-1 伝えたいことを書くための準備

- ①単元ゴールのライティングテーマに基づくマッピング
- ②モデルの提示



### ステップ1-2 正しく書くための反復練習

- ①語順を視覚的に捉えられるワークシート
- ②スピーキングドリル



### ステップ2 交流と修正

互いの文章を読み合い、そのよさや違いに気付いて、自分の文章を修正する。

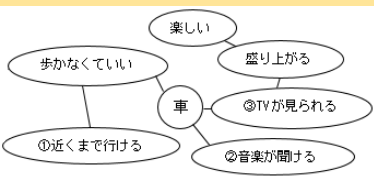
「正しい英語」とは...  
・相手に正しく通じるように語順の整った英文  
・まとまりのある一貫した英文と捉えています。

実践例 接続詞[if, I think (that), when, because]を使って、身近な話題について自分の意見やその理由を述べる。

### ステップ1-1

- ①単元ゴールのライティングテーマに基づくマッピング

名古屋へ旅行するALTに、電車か車のどちらで行ったら良いか、おすすめ文を書こう！



- ②モデルの提示 《教師が示したもの》

モデル1  
You will like to travel by train. Trains usually arrive on time. You may waste time in a traffic jam in a car. ... (略)  
—意見や理由が羅列された文

モデル2  
I think you will like to travel by train because trains usually arrive on time. If you use a car, you may waste time in a traffic jam. ... (略)  
—接続詞を適切に使った文

- 【成果】
- ・構想が目に見える形で表れていたため、書き始めがスムーズだった。
  - ・事前に書きたい内容を広げたり、整理したり、順序づけたりしておいたため、一貫性のある文章が書けた。
  - ・教師にとっては、生徒の思考を理解することにもつながり、支援がしやすくなった。
  - ・接続詞を使うと、自分の意見やその理由を整理して伝えられることに気づき説得力やつながりのある文章を書くことに有効だった。

### ステップ1-2

- ①語順を視覚的に捉えられるワークシート

《基本練習》	A (実)		B (実)	
e.g.	when	you	are busy	I will help you
	…(の)どき	…が	～時	…が
①	When	John	has free time,	he often listens to music.
②	When	I	got home,	my sister was studying.
③	When	Miho	called Sally,	she wasn't at home.

- ②スピーキングドリル

《スピーキングドリルの一例》

- ・If you are interested, we will send you a catalog. もし興味があれば、私たちはあなたにカタログを送ります。
- ・If it's crowded, you have to stand in the train. もし混んでいたら、あなたは電車の中で立っていなければならない。
- ・I think (that) baseball is interesting. 私は野球はおもしろいと思います。
- ・I think (that) Katie will like to travel by car. 私はケイティは車で旅行することを気に入るだろうと思います。
- ・When you are busy, I will help you. あなたが忙しいときは、私が手伝います。
- ・When you have a seat, you can sleep in the train. あなたは座れるときは、電車の中で寝ていられます。

### 【成果】

- ・毎時間、何度も声に出して練習することで、文構造や語順が体感的に身に付いた。また、定着した表現が、書く場面で役立った。

《ステップ1を経て、生徒が書いたおすすめ文》



I think that you will like to travel by car because you can drive right to your hotel. If you like music, you can listen to music in your car. When you want to watch TV, you can watch TV anytime. You can enjoy your time in the car. So I think that you will like to travel by car.

《ステップ2で、互いのよさや違いを生かし、グループで書いたおすすめ文》

We think that you will like to travel by car because you can drive right to your hotel. We have three more reasons. First, you can buy and take a lot of souvenirs. Second, when you want to watch TV, you can watch TV anytime. Third, if you are late, it's OK. You can leave from home anytime. So we think you will like to travel by car.

### ステップ2 交流と修正

互いの文章を読み合い、小グループで一つのおすすめ文を完成させる。

### 【成果】

- ・ALTを脱得できるように、互いによく読んでよさや違いに気づき、接続詞や序数詞を正しく用いてより良いおすすめ文を作ることができた。

### ○成果と課題

- ステップを踏んで書く活動を行うことにより、伝えたいことを個人や集団で正しく書くことができるようになってきた。
- スピーキングドリルの表現を、自分の伝えたいことを書くために生かして書くことの力を伸ばすには、まず、話すことのもも伸ばさなければならない。スピーキングドリルの内容や実施方法を再検討する必要がある。
- 1文を正確に書けるようになって、まとまりのある文量になると、間違いが増えてしまう。相手に「正しく」伝わる表現にするために、ネイティブスピーカーのALTとも連携し、重要なポイントを押さえて指導する必要がある。